

おもしろ図書館

No.234

発行 代表
おもしろ図書館
青木 和子
松戸市牧の原1-104
104-416
TEL 047-311-0886

新市長に松戸隆政氏

6月に本郷合健次前市長が退任され、松戸市長選挙の結果、松戸隆政氏が初当選されました。

就任後、松戸よみうり新聞社の戸田照朗記者が松戸新市長の公約についてお話を伺い、その内容が7月27日発行の松戸よみうり紙上に掲載されました。図書館政策について言及された部分を皆様にもお読み頂きたいと思い、会報への転載をお願いしたところ、快諾を頂くことができました。

市長選に立候補された方々には「おもしろ図書館」からも公開質問

状をお願いしました。頂いた回答は、另外として週日皆様のお手元へお届けしましたので、改めて「松戸よみうり」の記事と合わせてお読み頂ければ幸いです。

松戸市立図書館建替えの建設計画が、松戸新市長のもとで遅滞なく進められますよう、これから皆様と共に見守ってまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



第911号
7月27日(日)

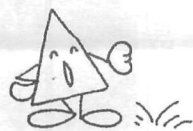
2025年(令和7年)

発行所

松戸よみうり新聞社
松戸市和名ヶ谷723(〒270-2232)
電話 (047) 392-3300
FAX (047) 392-3288

松戸よみうり

THE MATSUDO YOMIURI



図書館政策

記者「老朽化した市立図書館を、文化・芸術・学びの拠点として新たに整備します」とありますが、図書館の整備について、どのようにお考えですか。

市長 これまで、松戸市が考えてきた文化複合施設という考え方はいいと思っています。今時図書館を作ってもただ貸すというのは時代に合わないと思っていて、そこに人が集っているような文化活動ができるような複合施設を作りたい。松戸市民のなかで図書館を使っている人の割合はそんなに高くない。近くにカフェがあって、本を読みながらコーヒーが飲めるとか、サークル、

会議、公園などに人が集まって、市民の図書館の利用が増えるよう、みんなが集まれる場所を作りたいというのが図書館構想です。

記者 県内公立図書館サービス指標というのがあり、人口一人あたりの蔵書冊数は松戸市がずっと県内最下位です(令和5年度は1・37)。

市長 本を買いにしても、書庫が圧倒的に足りない。だからこそ新しい施設にして、表面的に本がいっぱいあるというよりは、ネット検索すれば出てくるといふような、書庫の部分についてはしっかり増やす必要があります。一人当たりの蔵書数が少ないのは間違いないので、一定程度増やしていく必要があります。

記者 相模台に図書館を移すという案がありますが、どう考えられていますか。

市長 以前の構想だと、市役所を相模台の南側に移し、北側エリアに関しては複合施設という形で、真ん中に中央公園があったのをちよっと削って、商業ゾーンをつくるというのが前の市長の構想でした。南側エリアに関して、市役所を移すかどうかは白紙撤回していますので、現地建て替え、もしくは移転ということで考えるというので、いったんストップです。北側については、まだ土地を買っていない。これから買う交渉で、何十億とかかると思います。そこも含めて改めて考え直さなければいけない。図書館の場所に関

しては、前の構想通りなのか、市役所の候補地だったところなのか、どういったところがベストなのか、考え直さなければいけません。



おい図書館／みんなで教育を考える会 常世田良氏が講演



「おい図書館」総会で講演する常世田良氏

6月22日(木)の「おい図書館」定期総会と7月26日(土)の「みんなで教育を考える会」で常世田良氏(元立命館大学教授)が講演されました。戸田照朗記者が取材報告として下さいました(27日号)で、同じく転載させて頂きます。

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

市民団体「おい図書館」元館長で、松戸市立図書館基本計画検討委員、元教育委員会委員長の関英昭氏と前教育長の伊藤純一氏が共同代表を務める「みんなで教育を考える会」で、常世田良氏は先進的な図書館として知られる浦安市立

松戸市長期総合計画に「おい図書館」は設けられ、長年の課題となっている。松戸市長期総合計画に「おい図書館」は設けられ、長年の課題となっている。松戸市長期総合計画に「おい図書館」は設けられ、長年の課題となっている。

図書館総合展

2025



報告 富田文子

10月22日(水)〜24日(金)にパシフィコ横浜で開催された「第27回図書館総合展」へ、赤崎さんと行ってきました。

私がこの展示会を知ったのは昨年でした。図書館の活動をするなら是非！と司書の方や共に活動する方のおすすすめもあり、今回やっと思ふことができました。最寄り駅は「みなとみらい」で松戸からは遠いのですが、本や図書館に興味のある人は時間をかけてでも絶対に行く価値あります。

図書館総合展初心者にはガイドツアーもありますが、今回はスタンプリーをしつつ回ることにしました。スタンプリーをしつつ順番に回るだけでもいろいろな資料や関連

企業の宣伝のための記念品などのノベルティーで、手提げがパンパンに！

今回、私が個人的に気になった展示をご紹介します。

☆展示①公益財団法人図書館振興財団・図書館を使った調べる学習コンクール

小学校低学年から大人までを募集対象とし、身近な疑問や不思議に思ふ事、興味がある事など、調べるテーマは自由。見る・聞くなどの体験や実地調査なども取り入れながら、どのように調べたのか、その結果何がわかったのかをまとめて応募する。

こちらは図書館での調べ学習のコンクールですが、地域コンクールもあり、千葉県では船橋、野田、茂原、柏、八千代、袖ヶ浦の6市が参加していました。

小学生から大人の部もあるので、学校や図書館と連携することで「み

んなで」図書館を有効活用する取組みとしても面白いと思いました。また、財団として振興助成事業への助成金制度もあるので、市として助成へチャレンジしてみたいかな？など妄想が膨らみました。

展示されている資料が、とにかく素晴らしかったです。

☆展示②カールル・2025年10月公開の「カールル for AI」

「カールル」は、全国400以上の図書館の貸出状況をリアルタイムで簡単に検索できる日本最大の検索サイト。カールルが作られたのは、既存の図書館システムには利用者視点が見えていないので、より使い易い図書館サービスのアイデアが発表された。2010年10月に公開されました。

(「カールル」の語源は「借りる」…分かり易い！)

2025年10月からは更にAIを連動させる事で進化しようです。単なる蔵書検索システムとは視点が違

い「本との出会い」を導くツールのようです。

同行の赤崎さんは司書の有資格者なので、既に「存知」のシステムのようにした。私も実際に使える範囲のものから活用したいと思います。

☆展示③図書館自動返却機「Book Return Kiosk」

展示された自動返却機は回収された書籍の振り分けまでできるらしく、海外での様子を動画でも見られました。成田市では既に導入しているようです。

分館の多い松戸市でこの様な機械を入れる場所を確保して集約すれば、仕分けのための人件費負担削減や書籍の回転率を高める事ができるのではないかなどと妄想が膨らみました。せつかくの図書館スタッフには作業よりレファレンスなどに集中できる環境にして欲しいと思います。こちらは是非

行政の方に見て欲しいので、チャンスがあれば伝えたいと思いました。

これ以外にも、スピーカーズコーナー、ポスターセッション、「としよけつと」(図書館関係者が作成した同人誌や書籍等の委託販売コーナー)、物販などがあり、会場はかなり熱気に包まれていました。

関連企業のノベルティもたくさん頂き、あちこちで興味深いミニアツクなお話も聞けて大満足！しかし、帰宅してから、他にも面白い取り組みがあった事をSNS(X)で見かけてショック！

次回は、もっと計画的に展示に挑もうと思いました。

※今回の資料を「見てみたい！」という方は是非、富田まで。



まだ「存知」の方へのお知らせ

2020年(R.2年)3月、松戸市立図書館本館分館以外に「図書返却ポスト」が設置されました。設置場所は市内駅ビルのエケ所です。

・JR松戸駅アトレ松戸店6F くまざわ書店の奥 10時〜21時

・京成(旧新京成)八柱駅第一ビル3F 改札階 5時〜24時30分

投入できるもの：松戸市立図書館で借りた本及び雑誌

投入できないもの：視聴覚資料(CD、カセットテープ等)、他市区町村の図書館から取り寄せた相互貸借資料
年末年始と各駅ビルの休館日を除く

それぞれ、アトレ松戸店様、京成(旧新京成)電鉄様の「厚意により」設置されました。通勤、通学、買い物などのついでに、本の返却ができるようになっております。どうぞご利用下さい。